**４-(3)食に関する指導の全体計画①　中学校（例）**

学校教育目標

「健康で豊かな感性」と「確かな学力」を備え，何事にも創造的・主体的に取り組むたくましい生徒の育成

　自ら考え学習する生徒（自主）

　自他を愛し協力する生徒（友愛）

　心身共にたくましい生徒（健康）

[　生徒の実態　]

・毎日朝ごはんを食べる生徒○○％

・肥満傾向の生徒　男子○○％

　　　　　　　　　女子○○％

[　保護者・地域の実態　]

・毎日朝ごはんを食べる　○○％

・○日は○○ごはんの日（地場産物を使った食事）を実施している人　○○％

[　第４期宮城県食育推進プラン　]

・肥満傾向児の出現率の減少　中１男子14.80％

　　　　　　　　　　　　 　 中１女子13.60％

[　第○期市町村食育推進計画　]

・朝ごはんを毎日食べる生徒　○○％

・○日は○○ごはんの日（地場産物を使った食事）を実践している人　○○％

・市町村の特産品(○○)を知っている人 ○○％

**食に関する指導の目標**

**（知識及び技能）**

　　　正しい知識・情報を理解し，望ましい食習慣を身に付けている。

**（思考力，判断力，表現力等）**

　　　自分の健康について考え，健康に配慮した食生活ができる。

**（学びに向かう力，人間性等）**

　　　食事のマナーを身に付け，好ましい人間関係を築こうとする態度を

　　　身に付けている。

食育の視点

◇食事の重要性

◇心身の健康

◇食品を選択する能力

◇感謝の心

◇社会性

◇食文化

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 各学年の食に関する指導の目標  小学校  幼稚園・保育所  幼保連携型  認定こども園 | | |
| 1年  ･日常生活における食事について，正しい理解と望ましい習慣を養う。  ･栄養に関する知識を高め，偏食の改善に努める。 | 2年 | 3年 |
| ・食事の役割を理解し，望ましい食習慣を身に付けることができる。  ・自己の食生活の課題を見つけ，改善することができる。  ・衛生的で共同的な楽しい食事の在り方を工夫することができる。 | ・正しい知識を身に付け，より健康的な食生活を送るために，自ら判断できる能力を身に付ける。  ・食事のありがたさに気付き，食に関する人々へ感謝することができる。  ・地場産物や郷土料理を理解し，地域を尊重することができる。 | ・食に関する自己の課題を見つけ，生涯にわたる健康な食生活を身に付ける。  ・自己の食生活を見直し，望ましい食習慣を続けていこうとする意欲と実践力を持つことができる。  ・望ましい食事の仕方や会食のマナーを身に付け，好ましい人間関係を築こうとする態度を身に付けることができる。 |

食育推進組織（校内食育推進委員会）

　　校長・教頭・栄養教諭・主幹教諭・教務主任・給食主任・体育主任・学年主任・養護教諭

食に関する指導

　　教科等における食に関する指導：関連する教科等において食に関する指導の視点を位置付けて指導

　　　　　　　　　　　　　　　　　社会，理科，技術・家庭，保健体育，道徳，総合的な学習の時間，特別活動等

　　給食の時間における食に関する指導：食に関する指導：献立を通して学習，教科等で学習したことを確認

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　給食指導：準備から片付けまでの一連の指導の中で習得

　　個別的な相談指導：肥満・やせ傾向，食物アレルギー・疾患，偏食，スポーツ

地場産物の活用　　　　地場産物の校内放送　　給食だより　　掲示物

家庭・地域との連携

　学校だより，給食だより，保健だより，学校保健委員会，講演会，料理教室

　広報○○○，ホームページ，公民館活動，食生活推進委員・生産者団体・市町村食育推進委員会

食育推進の評価

活動指標：食事の重要性についての食に関する指導が計画通りに実施できたか。

　　成果指標：朝ごはんを毎日食べる生徒の割合を増やす　朝食の喫食率○○％→○○％